

## 編集後記

『一橋大学スポーツ研究』第36巻を上梓することができた。

テーマは、「スポーツにおける多様性の諸相」とした。「はじめに」でも書かれているように、私たちは、「グローバル化する社会におけるスポーツと多様性に関する研究」（科研費）をテーマに、共同研究を行っている。それぞれの関心は異なるものだが、スポーツそのものを相対化し、社会とスポーツとの関わりや変化を捉えようとする試みは共有しているといえよう。本号はその模索の過程でもある。

多様性（ダイバーシティ）という言葉は、近年スポーツにおいてもよく言及されるようになった。多様な参加者、多様な社会、多様な競技、、、字義通り「多様な」使い方がされるが、スポーツそのものが多様になっているのではないか、という視点も含めた。2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けて、ますます激しくなるオリンピック・パラリンピック熱であるが、他方、非オリンピックスポーツや、パラリンピックには含まれない障がい者スポーツもある。スポーツと呼べるのかわからないゲームや身体運動などの広がりも見られる。これらはスポーツの多様化と呼ぶべきなのか、それともスポーツそれ自体が変化をはらんでいるのではないか、あるいは、「スポーツをする私たち」が変化しているのではないか。さまざまな諸相を捉えて検討した成果を、これからも発表していきたいと考える。

本年報は、科学研究費助成事業基盤研究（C）「グローバル化する社会におけるスポーツと多様性に関する研究」（研究代表者：尾崎正峰、課題番号16K01697）の研究成果の一部である。

（坂 なつこ）

## 一橋大学 スポーツ研究

Vol.36

### スポーツにおける多様性の諸相

---

2017年12月1日 発行

編集・発行 一橋大学スポーツ科学研究室

〒186-8601 東京都国立市中 2-1

TEL 042-580-8270

<http://www.soc.hit-u.ac.jp/~sport/>

---